

PCi- USERS MANUAL

IEEE1394 2.5"/3.5" E-IDE PORTABLE HDD CASE

RX-35F

プラネックスコミュニケーションズ株式会社



USERS MANUAL

IEEE1394 2.5"/3.5" E-IDE PORTABLE HDD CASE

RX-35F

このマニュアルの構成

本マニュアルは以下のような構成になっています。

◆ 必ずお読みください ◆

第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。必ずお読みください。

◆ ご使用方法 ◆

第2章 ハードウェアの準備

本製品に3.5/2.5インチハードディスクを取り付ける手順を説明します。

第3章 Windows98SEへのインストール

本製品のWindows98SEへのインストール手順を説明します。

第4章 Windows2000へのインストール

本製品のWindows2000へのインストール手順を説明します。

第5章 新しいハードディスクを使う場合

ハードディスクのフォーマット及び設定方法について説明します。

付録

付録A Macintoshへのインストール

本製品のMacintoshへのインストール手順を説明します。

付録B トラブルシューティング

「トラブルかな?」と思われる場合の対応方法について説明します

付録C 仕様

本製品の仕様について説明します

《マニュアル内の表記について》

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。
区別が必要な場合は製品型番で表記します。

目次

第1章	はじめに	
1.	IEEE1394概要	1
2.	製品概要	2
3.	特長	2
4.	推奨ハードウェアおよびOS	3
5.	梱包内容について	3
6.	各部の名称	4
第2章	ハードウェアの準備	7
1.	本体に3.5 " HDDを取り付ける	8
2.	本体に2.5 " HDDを取り付ける	9
第3章	Windows98SEへのインストール	
1.	PCへの接続	11
2.	インストールの確認	12
3.	ドライブ取り外し時の注意	13
第4章	Windows2000へのインストール	
1.	PCへの接続	15
2.	インストールの確認	16
3.	ドライブ取り外し時の注意	17
第5章	新しいハードディスクを使う場合	
1.	Windows98SEの場合	19
2.	Windows2000の場合	28
付録A	Macintoshへのインストール	
1.	ドライバのインストール	33
2.	RX-35Fとコンピュータの接続	34
3.	インストールの確認	34
4.	ドライブの取り外し	35
5.	ドライバの削除	35
付録B	トラブルシューティング	37
付録C	仕様	39

はじめに

1. IEEE1394概要

IEEE1394は、FireWireとしてApple Computer Incが開発した高速シリアスインターフェイスを米国IEEE(Institute of Electrical and Electronic Engineers)で規定した新しいインターフェイスです。

通信速度は400Mbpsと高速で、最大63台までのデバイスを接続する事ができます。各デバイス間のノードは最大で4.5mまで可能です。ホットスワップ、シンプルなコネクタ形状(光ファイバを除くコネクタ形状は、4ピン、6ピンの2種類しかありません)など現在のインターフェイスになくはならない機能をサポートしています。接続形態は、SCSIのようにデジチェーンで各デバイスを接続する事も可能ですがリピータを介してツリー状に接続するなど柔軟性のある接続が行えます。

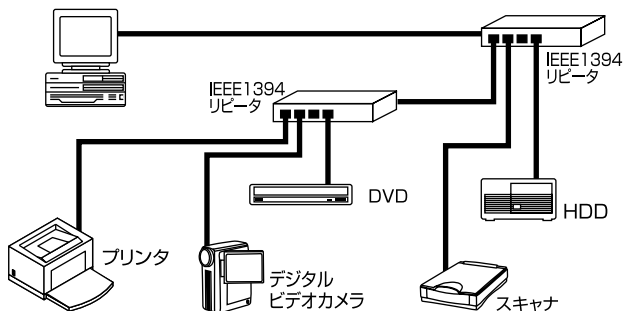


図1-1 IEEE1394接続形態

特長の一つにアイソクロノス転送のサポートがあります。これは、デジタルビデオカメラや、デジタルオーディオなどからの動画や音声の情報を途切れずに再生する必要のあるデバイスに有効な転送方式です。又、IEEE1394は、プリンタやデバイスベイ、家庭内LANなどの用途でも期待されています。

2. 製品概要

本製品はIEEE1394インターフェイスを搭載したIBM PC/AT互換機上で使用可能なポータブルハードディスクケースです。ノートパソコンおよびデスクトップ用の3.5" / 2.5" ハードディスクドライブを使用することができます。増設に伴い不要になったハードディスクなどを有効に活用することができますようになります。

3. 特長

IEEE1394-1995、IEEE1394a(Version2.0)に準拠。
最大400Mbpsの転送レートをサポートしています。
2つの6ピンIEEE1394ポートを装備し、RX-35Fを含め他のIEEE1394機器を、デジチェーン接続できます。
市販の3.5" / 2.5" IDEハードディスクドライブに対応。
プラグアンドプレイ機能に対応しています。
軽量コンパクトなケースを採用
ハードディスクドライブ冷却用のファンを装備。
ステータス確認用のLEDを装備。
狭いスペースでも使用できるよう縦置きも可能。
それぞれのポートに最大500mAの電流を供給します。
それぞれのポートに荷電流防止機構を備えています。
63台までのIEEE1394機器の接続をサポートしています。

⚠ 注意

本製品は、セルフ電源モードで動作します。必ず本製品に付属のACアダプタを使用してください。

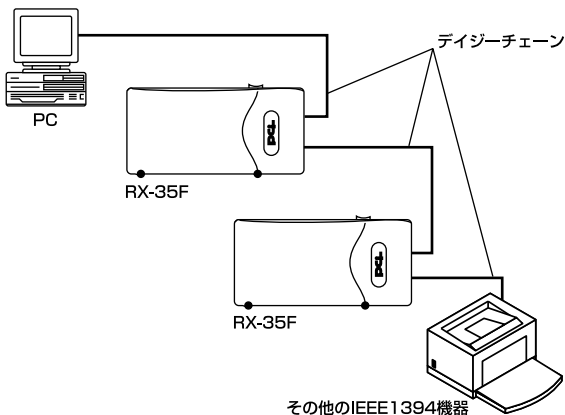


図1-2 本製品の接続例

4. 推奨ハードウェアおよびOS

IEEE1394インターフェイスを装備したIBM PC/AT互換コンピュータ
Windows98SE(セカンドエディション) Windows2000

Windows98SEインストーラCDROMが必要です。

5. 梱包内容について

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

RX-35F本体

このユーザズマニュアル

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまで
お問い合わせください。

6. 各部の名称

前面図

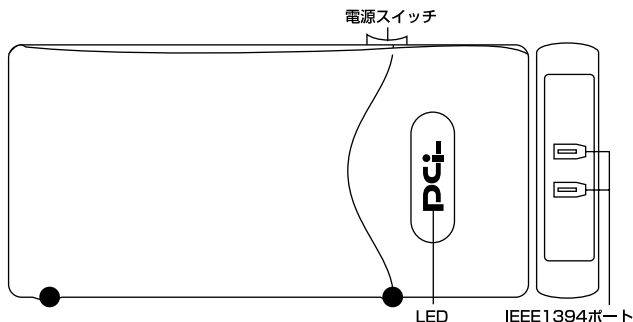


図1-3 RX-35F

<LED>

通電中は緑色に点灯します。IEEE1394ポートもしくはIEEE1394デバイスに異常があるときは点灯しません。

<IEEE1394ポート>

6ピンのIEEE1394ポートを2ポート装備しています。一方のポートは、PCとの接続に使用し、余ったポートはデジチェーン接続により、他のIEEE1394機器を接続できます。(PCへの接続はどちらのポートでも可能です。)

背面図

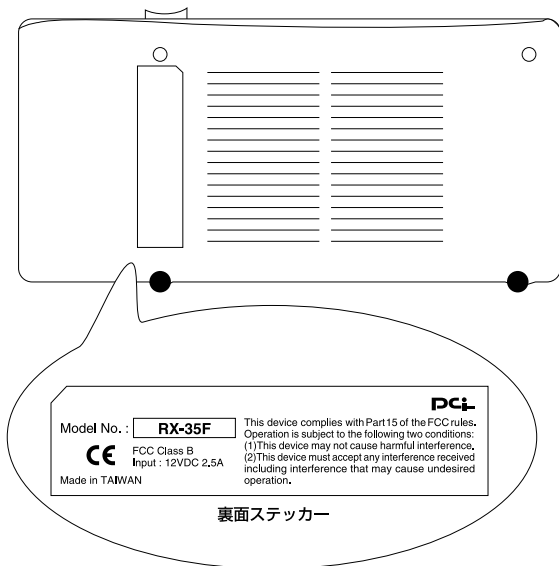


図1-4 裏面ステッカー図

< 品番 >

本製品の製品型番です。

< シリアル番号 >

本製品のシリアル番号です。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要となります。

ハードウェアの準備

本章ではハードディスクの取り付け方法について説明します。

本製品は、デスクトップおよびノートパソコン用の内蔵ハードディスクとして使用されている3.5インチおよび2.5インチのIDEタイプのハードディスクドライブ(以下3.5" HDD、2.5" HDD)を使用する事が可能です。

3.5" HDDを使用する場合は1を、2.5" HDDを使用する場合は2をそれぞれ参照してください。

⚠ 注意

- ・ハードディスクの取り扱いには、注意が必要です。ハードディスクに付属のマニュアルを参照してください。
- ・ハードディスクは、必ず下記の図のように持ってください。ディスクを損傷する恐れがあります。

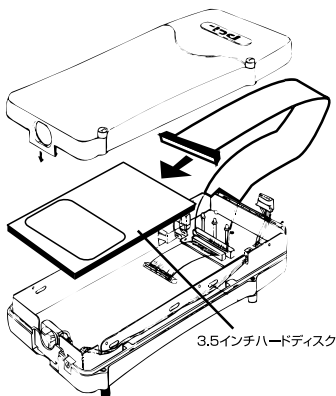


1. 本体に3.5" HDDを取り付ける

1. 本体の下側を手でしっかりと抑えて、図の矢印の位置を指で引き上げるとカバーが外れます。



2. ケースの中蓋を外して中に入っている付属品を取り出します。
3.5" HDDを使用するときは幅の広い140pinのIDEケーブルを使用しますので、このケーブルを用意してください。



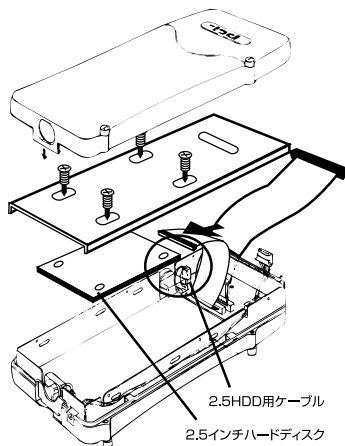
3. IDEケーブルの赤いラインが本製品の40pinIDEポートの1番ピン(基板上に「1」と印刷されている側)にくるようにケーブルの一方を取り付けます。
 4. 本製品に取り付けたIDEケーブルの赤いラインが、3.5" HDDの40pinIDEコネクタの内側(電源コネクタ側のpin)にくるように取り付けます。(3.5" HDDを搭載したとき、ドライブの腹の部分が上を向くようになります。)
HDDのジャンパー設定はMasterに設定してください。(WesternDigital製はSingle設定)
 5. 電源コネクタを取り付け3.5" HDDをケースに収納します。
 6. 3.5" HDD側面のねじ穴をケース側面のネジ穴に合わせて付属のネジで固定してください。
- 以上で準備は完了です。

2. 本体に2.5" HDDを取り付ける

1. 本体の下側を手でしっかりと抑えて、図の矢印の位置を指で引き上げるとカバーが外れます。



2. ケースの中蓋を取り外して、中に入っている付属品を取り出します。
2.5" HDDを使用するときは幅の狭い144pinのIDEケーブルを使用しますので、このケーブルを用意してください。



3.IDEケーブルの赤いラインが、本製品の44pinIDEポートの1番ピン（基板上に「1」と印刷されている側）にくるようにケーブルの一方を取り付けます。

4.本製品に取り付けたIDEケーブルの赤いラインが、2.5 "HDDの44pinIDEコネクタの内側（Master/Slave設定pin側）にくるように取り付けます。

HDDのジャンパー設定はMasterに設定してください。

5.使用する2.5 " HDDの底面のネジ穴とケースの中蓋の保護シートの貼ってある面のネジ穴をあわせて付属のネジで固定します。（2.5 "HDDのコネクタのある面が中蓋の穴の空いた方向を向くよう取り付けます。）

以上で準備は完了です。

Windows98SEへのインストール

本章では、本製品のWindows98SEへのインストール手順を説明します。

1. PCへの接続

本製品はホットプラグをサポートしています。PCと本製品の電源をオンにしたまま接続することが可能です。また、事前にデバイスドライバ等をインストールする必要はありません。Windows98SEに標準搭載されているドライバで動作可能です。

1. PCの電源を入れてWindowsを起動してください。
2. 本製品の電源をオンにしてハードディスクを起動してください。正常に起動し動作していれば、本体上面の「pci」ロゴがグリーンに点灯します。
3. 本製品のどちらか一方のIEEE1394ポートを、PCに搭載されているIEEE1394ポートに接続してください。ハードディスクが自動的に認識され、[マイコンピュータ]のドライブの一覧に本製品のドライブのアイコンが表示されます。

以上でドライブが使用可能な状態になります。

⚠ 注意

ハードディスクへアクセス中に、IEEE1394ポートからケーブルを抜いたり、側面のスイッチをOFFにしないようにしてください。ハードディスクが破損する恐れがあります。

新しいハードディスクおよびパーティションを設定していないハードディスクを使用する場合は「第5章 新しいハードディスクを使う場合」をご覧ください。

2. インストールの確認

- 1[マイコンピュータ]の中の[コントロールパネル]を開いてください。
- 2[システム]を開き[デバイスマネージャー]タブをクリックしてください。
- 3[コンピュータ]以下の一覧のなかに[SBP2]プロトコルと[ディスクドライブ]のツリーに[LSILogic SYM13FW500-Disk]ある事を確認してください。



これらのアイコンが表示されない、またはアイコンに「？」や「！」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。

一度ケーブルを抜き差しして再認識させるか、「LSILogic SYM13FW500-Disk」をクリックしてハイライトさせ「削除」ボタンをクリックしてください。その後、第3章の手順に従って再インストールを行ってください。

3. ドライブの取り外し時の注意

本製品はホットプラグをサポートしており電源オンのまま取り外すことが可能ですが、以下の操作を行うことにより安全に取り外すことができます。

- 1[マイコンピュータ]の[コントロールパネル]を開いてください。
- 2[システム]を開いて[デバイスマネージャー]タブをクリックしてください。
- 3[ディスクドライブ]のツリーの中の[LSILogic SYM13FW500-Disk]をクリックしハイライトさせ「削除」ボタンをクリックしてください。



- 4[LSILogic SYM13FW500-Disk]のアイコンが消えたらケーブルをPCから取り外してください。

Windows2000へのインストール

本章では、本製品のWindows2000へのインストール手順を説明します。

1. PCへの接続

本製品はホットプラグをサポートしています。PCと本製品の電源をオンにしたまま接続することが可能です。また、事前にデバイスドライバ等をインストールする必要はありません。Windows2000に標準搭載されているドライバで動作可能です。

- 1.PCの電源を入れてWindowsを起動してください。
- 2.本製品の電源をオンにしてハードディスクを起動してください。
正常に起動し動作していれば、本体上面の「pci」ロゴがグリーンに点灯します。
- 3.PCに搭載されているIEEE1394ポートに接続してください。ハードディスクが自動的に認識され、[マイコンピュータ]のドライブの一覧に本製品のドライブのアイコンが表示されます。

以上でドライブが使用可能な状態になります。

▲ 注意

ハードディスクへアクセス中に、IEEE1394ポートからケーブルを抜いたり、側面のスイッチをOFFにしないようにしてください。
ハードディスクが破損する恐れがあります。

新しいハードディスクおよびパーティションを設定していないハードディスクを使用する場合は「第5章 新しいハードディスクを使う場合」をご覧ください。

2. インストールの確認

- 1[マイコンピュータ]の中の[コントロールパネル]の[システム]を開いてください。
- 2[ハードウェア]タブを選択し[デバイスマネージャ]ボタンをクリックしてください。
- 3[デバイスマネージャ]の一覧の中の[ディスクドライブ]のツリーに[LSiLogic SYM13FW500-DISK DRIVE IEEE1394 SBP2 Device]ある事を確認してください。



これらのアイコンが表示されない、またはアイコンに「？」や「！」のマークが表示される場合はドライバのインストールが正常に終了していません。

一度ケーブルを抜き差しして再認識させるか、[LSI Logic SYM13FW500-DISK DRIVE IEEE1394 SBP2 Device]をハイライト表示させ、デバイス名を右クリックして[削除]を選択してください。デバイスを削除してから再度「1.PCへの接続」の方法で再度インストールしてください。

3. ドライブの取り外し時の注意

本製品はホットプラグをサポートしており電源オンのまま取り外すことが可能ですが、以下の操作を行うことにより安全に取り外すことができます。

- 1.Windows画面右下のタスクトレイ内の「ハードウェアの取り外しまたは取り出し」を開いてください。



- 2.[ハードウェアの取り外し]ウインドウが開き、停止可能なデバイス一覧が表示されます。[LSILogic SYM13FW500-DISK DRIVE IEEE1394 SBP2 Device]をクリックしハイライト表示させて「停止」ボタンをクリックしてください。



- 3[ハードウェアデバイスの停止]ウィンドウが開き、デバイス停止の確認を促します。よろしければ「OK」ボタンをクリックしてください。



- 4.「 'LSILogic SYM13FW500-DISK DRIVE IEEE1394SBP2 Device ' は安全に取り外すことができます。」のメッセージが表示されたら「OK」ボタンをクリックしてケーブルを取り外してください。



新しいハードディスクを使う場合



本章では、購入直後のハードディスクを最初に使う場合の方法について説明します。

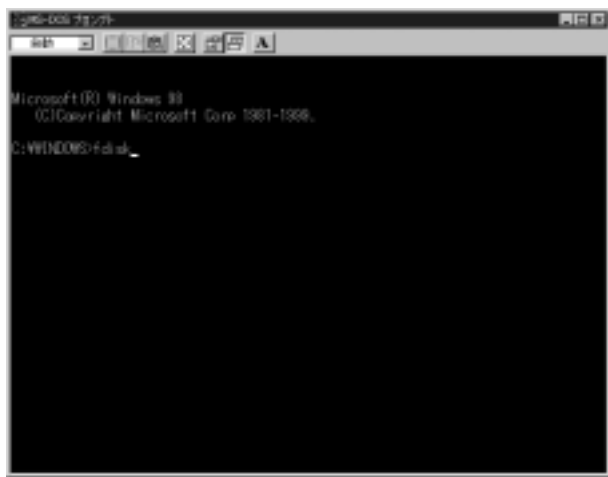
1. Windows98SEの場合

⚠ 注意

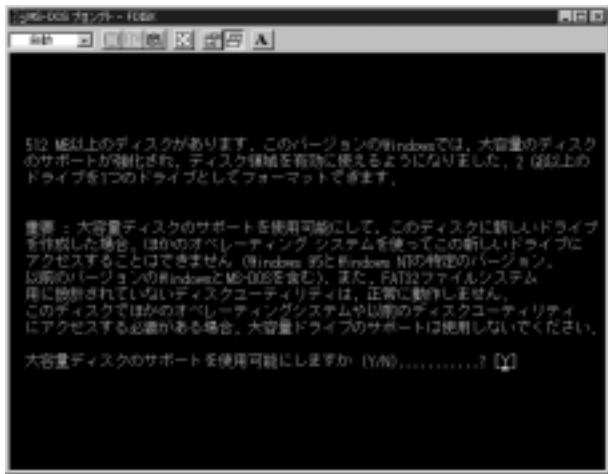
FDISKでの操作を誤ると現行で使用中のハードディスクの内容を全て失うことになりますので、FDISKの操作には十分ご注意ください。FDISK実行の結果については弊社では一切保証することはできません。

- 1.Windowsを起動し、デスクトップのタスクバーから「スタート」ボタンをクリックして表示されるリストから「プログラム」「MS-DOSプロンプト」をクリックしてDOSプロンプトウインドウを起動してください。

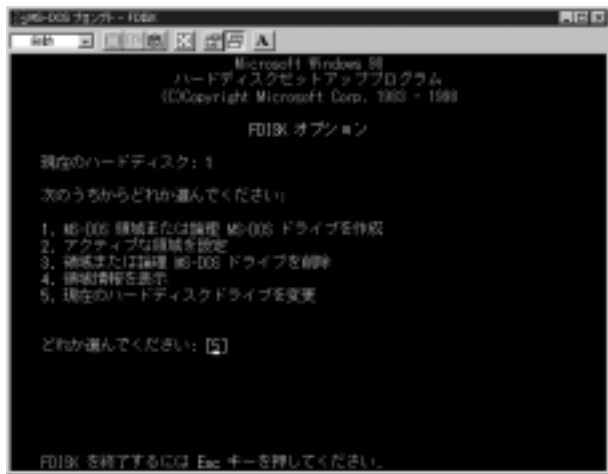
2. コマンドプロンプトから「FDISK」と入力して「Enter」キーを押してください。



- 3.「大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか」と表示されますので、2GB以上の容量のハードディスクを使用する場合は「Y」を選択してください。



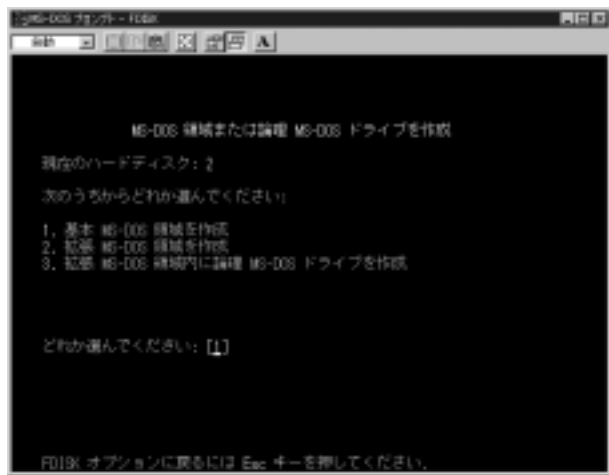
4.「現在のハードディスクドライブを変更」を選択してください。



5. 接続されているIDEハードディスクの一覧が表示されますので、「使用」が「%」になっているドライブを選択してください。



- 6.「MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成」を選択して「基本 MS-DOS 領域を作成」を選択してください。ドライブのチェック後「最大サイズを割り当てますか」と確認画面が表示されますので、ハードディスクの全領域を確保する場合は「Y」を選択してください。



- 7.設定が終了したら「ESC」キーでFDISKを終了してください。
- 8.コマンドプロンプトに戻るので、「EXIT」と入力して「Enter」キーを押してください。コマンドプロンプトが終了します。
- 9.コンピュータを再起動してください。

10. コンピュータが再起動したら、「マイコンピュータ」を開いてください。ドライブ番号が一番下位のローカルディスクが、本製品に取り付けられたハードディスクです。各ドライブアイコンの下の「()」の中に書かれているのが、ハードディスクのドライブ番号になります(図の例では「E:」ドライブになります)。



11. アイコンをクリックして反転表示させ、マウスの右ボタンをクリックしてください。



- 12.メニューから「フォーマット」を選択すると以下のウインドウが表示されます。「通常のフォーマット」をチェックして「開始」ボタンをクリックし、フォーマットを開始してください(フォーマットするとハードディスクの内容はすべて消去されます)。



- 13.フォーマット終了後、ハードディスクが利用可能になります。
以上で作業は終了です。

2. Windows2000の場合

⚠ 注意

[ディスクの管理] の操作を誤ると現行で使用中のハードディスクの内容を全て失うことになりますので、[ディスクの管理] の操作には十分ご注意ください。[ディスクの管理] 実行の結果については弊社では一切保証することはできません。

[ディスクの管理] の操作の詳細に関してはWindows2000の解説書等をご覧ください。

- 1.Windowsを起動し[コントロールパネル]の[管理ツール]の[コンピュータの管理]アイコンをクリックしてください。
- 2.画面左側の[ツリー]の一覧の中の[ディスクの管理]をクリックしてください。コンピュータに搭載もしくは接続されているドライブの一覧が表示されます。



- 3.フォーマットされていないハードディスクを接続すると画面下のディスクの一覧に「未割り当て」と表示されます。(画面では「ディスク1」)この黒い枠のなかにポインターを移動して右クリックしてください。メニューが表示されるので、[パーティションの作成]を選択してください。



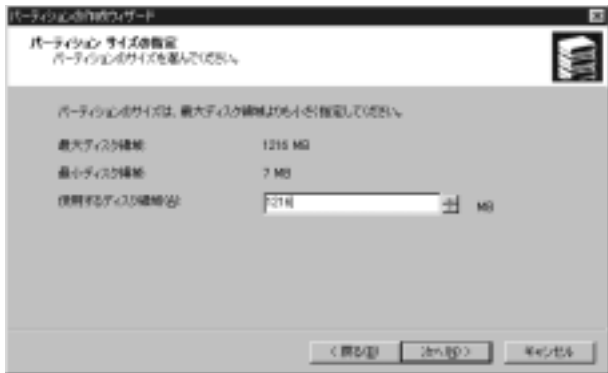
4[パーティションの作成ウィザードの開始]が起動します。[次へ]をクリックしてください。



5[パーティションの種類を選択]のウィンドウが開きます。作成するパーティションの種類をラジオボタンで選んで[次へ]をクリックしてください。(ここでは[プライマリーパーティション]を選択します。)



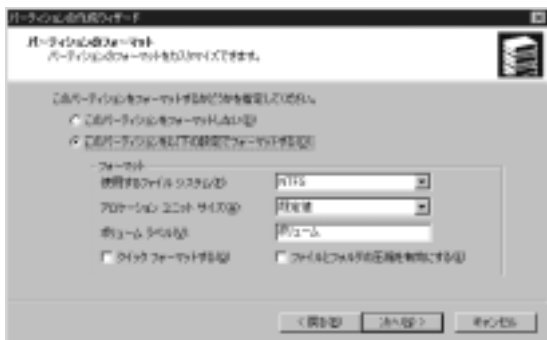
- 6[パーティションサイズの指定]のウィンドウが開きます。使用したいサイズを入力して[次へ]をクリックしてください。(ここではドライブすべてを使用します。)



- 7[ドライブ文字またはパスの割り当て]のウィンドウが開きます。指定したいドライブ文字またはドライブパスを入力して[次へ]をクリックしてください。(ここではE:ドライブとして割り当てます)



- 8[パーティションのフォーマット]のウィンドウが開きます。フォーマットしたいファイルシステム、アロケーションユニットサイズ、ボリュームラベルを入力して[次へ]をクリックしてください。(ここではすべてデフォルト設定で行います。)



- 9[パーティション作成ウィザードの完了]ウィンドウが開きます。[完了]ボタンをクリックするとハードディスクのフォーマットが始まります。フォーマットが終了するとディスクが使用可能な状態になります。



以上で作業は終了です。

Macintoshへのインストール

本章ではコンピュータへのドライバのインストール方法および本製品のコンピュータへの接続について説明します。Power MacintoshにMacOS 9.0以降が正しくインストールされていることを確認してください。MacOSのインストール方法についてはMacOSのマニュアルを参照してください。

1. ドライバのインストール

1. 本製品に付属のCD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットしてください。
2. デスクトップ上にCD-ROMアイコンが表示されたら、アイコンをダブルクリックしてCD-ROMの内容を参照してください。
3. "Formedia FireWire RBC Driver" "Formedia FireWire HD Driver" の2つのファイルをドラッグして[システム]フォルダ内の[機能拡張]フォルダにドロップしてください。



4. コンピュータを再起動してください。

2. RX-35Fとコンピュータの接続

1. 本製品の電源スイッチをONにしてください。
2. 本製品のIEEE1394ポートとコンピュータのFireWireポートを接続してください。
3. ディスクが正常に認識されるとデスクトップ上に下記のアイコンが表示されます。



名称未設定

3. インストールの確認

1. ファイルメニューのAppleマークをクリックして表示されるメニューから「システムプロファイル」を選択してください。
2. システムプロファイルウィンドウが表示されたら装置とボリュームタブをクリックしてください。以下の装置の一覧が表示されていれば本製品は、正常にインストールされています。



4. ドライブの取り外し

1. デスクトップ上のRX-35Fハードディスクをドラッグしてゴミ箱にドロップしシステムからアンマウントしてください。
2. 本製品からケーブルを取り外してください。

注意

システムから本製品をアンマウントせずにケーブルをコンピュータから取り外すと以下のメッセージが表示されます。

「FireWireディスクからの応答がありません。問題を解決しないとディスクの内容が壊れる可能性があります。」

この場合、再度ケーブルを挿しなおして下さい。

5. ドライバの削除

- 1 [システム] フォルダ内の [機能拡張フォルダ] を開いて "Formedia FireWire RBC Driver" "Formedia FireWire HD Driver" の2つのファイルをドラッグしてゴミ箱にドロップしてください。
- 2 コンピュータを再起動してください。

トラブルシューティング

「トラブルかな?」と思われる場合は、以下の点を確認してください

Q. デバイスマネージャーの画面でドライバに「!」マークがついてしまってもううまく動かない

ACアダプタを接続しているか確認してください。(本製品は必ずACアダプタが必要になります。)接続していない場合は、一旦外してからACアダプタを取りつけて、再度コネクタにセットしてください

Q. ドライバを組み込んだがドライブが認識されない

新しく用意したハードディスクは領域確保とフォーマットを行う必要があります。第5章を参考に設定を行ってください。

Q. IDE (UltraATA) 接続と比べてコピーのスピードが遅い

製品の仕様上、IEEE1394接続の場合はIDEよりも転送速度は遅くなります。

仕様

< 規格 >

IEEE1394-1995、IEEE1394a(Version2.0)準拠

< コネクタタイプ >

IEEE1394コネクタ × 2

< 対応ドライブ >

2.5/3.5インチハードディスクドライブ

< ファン >

冷却ファン × 1

< LED >

電源投入時「PCI」ロゴ点灯

< 入力電源 >

外部ACアダプタ DC 12V

< 外形寸法 >

125W × 40H × 240D mm

< 動作温度 >

0 ~ 40

< 動作湿度 >

35 ~ 85%

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは
お気軽に下記へご連絡ください。

なお「ユーザー登録はがき」をご返送またはホームページにて
ユーザー登録をおこなっていただいていない場合には、
一切サポートは受けられませんのでご注意ください。

フリーダイヤル：0120-415977

FAX：03-3256-9207

受付時間

月曜日～金曜日(祭日は除く)

10:00～12:00・13:00～17:00

ご質問の受付やドライバのアップデートを
下記wwwサーバで行なっておりますのでご利用ください。

<http://www.planex.co.jp/>

E-MAIL:info-planex@planex.co.jp

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

質問票

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当 行
FAX : 03-3256-9207

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
E-MAIL			

製品名	IEEE1394 2.5"/3.5"E-IDE PORTABLE HDD CASE
型番 Product No.	RX-35F
製造番号 Serial No.	

ハードディスク

メーカー	
型番	

ソフトウェア

OS	バージョン
----	-------

ご使用の
パソコン
について

メーカー			
型番			
その他使用中のカード (SCSI / Sound Card等)	IRQ	I/O ADDR	

質問内容

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

保証規定

この製品は、厳密な検査に合格したものです。保証期間内に、お客様の正常なご使用状態の元で万一故障した場合には、本保証規定に従い無償で修理をさせていただきます。

ご購入後 1 ヶ月以内に発生した故障については初期不良交換対象となります。1 ヶ月を過ぎた場合は修理扱いとさせていただきますのでご了承ください。なお、弊社はセンドバック方式をとらせていただいております。故障の場合には、製品をお客様送料ご負担にて郵送していただき、弊社まで修理をご依頼ください。

ただし、次のような場合には保証期間内においても、有償修理となります。

1. ユーザー登録を行っていない場合
2. 購入日が明記されていない場合
3. 取扱上の誤りによる故障及び損傷、不当な修理や改造などをされた場合
4. お買い上げ後の移動、落下または郵送などにより故障、損傷が生じた場合
5. 火災、天災、地変、ガス害、または異常電圧により故障、損傷が生じた場合

保証書は、日本国内においてのみ有効です。

保証期間は、製品お買い上げ日より算定いたします。

保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

■ 免責事項 ■

火災、自身、第三者による行為、事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異状と思われる条件での使用により発生した損害に関して弊社は一切責任を負いません。

ユーザーズマニュアルの記載事項を守らないことにより生じた損害に関して、当社では一切責任を負いません。

本製品の使用または、使用不能から生じて付随した損害(事業の中断、事業利益の損失、記憶内容の変化、消失等)に関して一切責任を負いません。

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

保証書

弊社の保証規定を必ずご覧ください。

保証期間 Warranty	西暦 年 月 日より 1 年間
製品名	IEEE1394 2.5"/3.5"ε-IDE PORTABLE HDD CASE
型番 Product No.	RX-35F
製造番号 Serial No.	

個人使用 法人使用（チェックしてください。） 個人でご利用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。	
フリガナ	
会社名 （個人名）	
部課名	
フリガナ	
担当者名	
フリガナ	
住 所	<div>□□□-□□□□</div> <div>都 府 道 県</div>
電 話	— — 内線
F A X	— —
E-MAIL	

購入店名 所在地	
-------------	--

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ホームページ上でユーザー登録を行って戴いたお客様には抽選でプレゼントを差し上げております。ぜひホームページ上のユーザー登録をご利用くださいますようお願いいたします。

<http://www.planex.co.jp/>

インターネットをご使用になれないお客様は、本マニュアル最終ページのユーザー登録はがきをご使用ください。切り取って必要事項をご記入の上、弊社宛にご返送ください。インターネット上でユーザー登録をされたお客様は、ユーザー登録はがきをご返送いただく必要はありません。

ユーザー登録書の記入方法

ユーザー登録書をご記入いただく場合には、以下の事項を参考にしてください。

“製造番号”には、パッケージ側面に貼られているバーコードシールの“S/N”または商品裏側に記されている内容をご記入ください。

ユーザー登録書の表面の使用環境を忘れずに必ずご記入ください。サポート時の参考情報とさせていただきます。

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

郵便はがき

お手数ですが
切手を貼り
ポストに
ご投函下さい。

101-0041

東京都千代田区神田須田町 1-7
ウイン神田高橋ビル5F

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

『テクニカル・サポート担当』 行

ご使用になっている環境をお知らせください。

使用 ネットワークOS	
使用 OS	
使用機種	

ユーザー登録書

(プラネックスコミュニケーションズ 控)

購入日	西暦 年 月 日
製品名	IEEE1394 2.5"/3.5"ε-IDE PORTABLE HDD CASE
型番 Product No.	RX-35F
製造番号 Serial No.	

個人使用 法人使用 (チェックしてください。)	
個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。	
フリガナ	
会社名 (個人名)	
部課名	
フリガナ	
担当者名	
フリガナ	
住 所	<div>□□□-□□□□</div> <div>都 府 道 県</div>
電 話	— — 内線
F A X	— —
E-MAIL	

購入店名 所在地	
-------------	--

プラネックスコミュニケーションズ株式会社